

『4文字の励ましの言葉』 ～ ユー・モア (you more) ～

2024年7月2日、【YAHOO ニュースを検索したら3つの情報がありました。「樋野興夫」の検索結果 - Yahoo!ニュース

大腸がんが見つかった 48歳男性…医師の「4文字の言葉」に ...

「僕みたいな役立たずは死んだ方がいい」胃がんになった20歳 ...

大腸がん手術に成功した51歳男性、給湯室の裏で「女性社員の ...

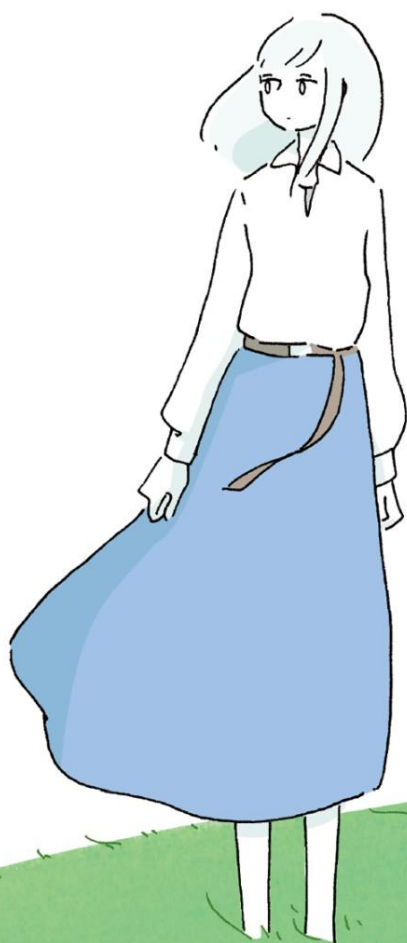
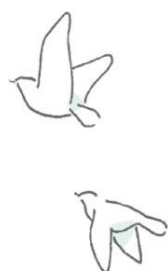
】との連絡を頂いた。【本稿は、『もしも突然、がんを告知されたとしたら。』（樋野興夫著 東洋経済新報社発行 2023年：添付）の一部を抜粋・編集したものです。】とのことである。

【『人間はただ生きているだけで、必ず誰かの役に立っている』という言葉に励まされました。気分が落ち込んでいると、自分は社会の役に立てているのだろうか、自分がいなくても誰も困らないのではないかと思うことは 誰にでもあると思います。遠山君も受験の大変さと両親からのプレッシャーで、きっと自分の存在価値を見失い 生きる希望が無くなってしまっていたのですね。そんな時に樋野先生に出逢い、お話を聞いてもらえたことで、命だけでなく その後の人生の夢まで見つけることができ、本当に良かったですし、改めて『がん哲学外来』の場の大切さを感じました。】

【『対話の大切さ、まさに、早期から緩和ケアが必要だということですよ！ 他の方にもシェアさせていただきます。』&『素晴らしいですね！ 2人に1人はガンになるという日本。皆さんが先生のような視点に立てたら どれだけ救われるでしょうか。世の中が逆に明るくなると思います。』&『若者に希望の光・・・受験で苦勞し、がんが見つかり、親子関係で自信を無くして失望し落胆している青年に「あなた、何か趣味はある？」との存在を認め、個人に興味を持って話かけて下さる愛の言葉を注いで下さり、さすがですね。』】などなどの複数のコメントを拝読された方から頂いた。大いに感動した。

7月3日は、『新渡戸記念中野総合病院 がん哲学外来』（新渡戸稲造記念センター於いて）で個人面談の機会が与えられた。

もしも突然、
がんと告知された
としたら。



順天堂大学名誉教授
樋野興夫

自分が、大切な人が、
人生の困難に直面したとき
不安でたまらない気持ちが軽くなる

なんで、私なの

5000人以上のがん患者と家族に寄り添い
生きる希望を与えてきた医師が贈る、救済の書！

東洋経済新報社